



「元気・笑顔 withふくしま」の集い

主催：東日本大震災聴覚障害者救援福島本部



◆とき

7月10日(日)

AM 10:00 ~ PM 15:30

◆ところ 郡山市労働福祉会館

午前 講演 「私たちの暮らしと放射能」

午後 公演 「庄崎ワールド」

”みんなが「元気になってほしい」「笑顔になってほしい」そして、仲間の団結を再確認して前に進みたい”……そんな思いで今回の企画をしました。聴障会・通研・サークルの会員だけでなく、非会員も友達も家族も。短期間の呼びかけに、果たして何人が集まってくれるのだろうか？という不安がありました。213名が参加。参加者の胸には笑顔の缶バッジが付けられました。

更に、好評だった内容は…午前の講演「私たちの暮らしと放射能」は、齋藤講師の分かりやすい話しと質問に対する丁寧な説明で、不安な気持ちも整理することが出来ました。午後の「庄崎ワールド」は、参加者みんなも一緒に手のウォーミングアップから始まり、庄崎さんの魔法は最後まで皆を笑顔にしました。

アンケートには、”暗いことだけを考えないで笑顔になれました””久しぶりに友達と会い、今日一日楽しい気持ちになりました””たくさんの元気をもらいました””震災以来落ち込んだ心が、今日から元気になりました”etc… 全員が元気に、笑顔になったことを書いていました

これからも余震や放射能の心配があると思いますが、心を一つに乗り越えていきましょう！今回のねらいは達成でき、大成功！！

＜東日本大震災聴覚障害者救援福島県本部＞



守ろう！大切な命を！

「元気・笑顔 with ふくしま」の集いに参加し、講演が始まるという時間少し前、突然の地震が発生し、会場内は一時騒然となりましたが、数秒で収まり本当に良かったです。

現在も余震が続いている中、安全・安心な生活を求めて放射能の講演を聞きました。

福島県は、地震・津波・放射能・風評被害を受けています。私達は、今後、放射能汚染による影響で新たな問題が出てくるということを学びました。放射能に対して正しい知識を得ることは、大切な命を守ることです。未来ある子ども達のためにも私達は、今何が起きているのか、何ができるのかを考えていかなければならないと思いました。

(いわぎ) 大友加代子

公演から学ぶ「伝える心」

今回、「元気・笑顔・withふくしま」に参加して色々な事を感じ、教えてもらいました。特に、庄崎隆志さんの公演は、手話があまりできない私でも、とても楽しめました。表現は心からするものだと改めて感じました。例えば、チェロの演奏が海の様子になっていく劇では、海洋生物を手で生き生きと表現できるものなんだなあと、手話の表現の新しい楽しさを知りました。若い方との表現レッスンでは、コミュニケーションは、話したいという心がある事で、自然と表情や身振りがついてくるものなのだと感じました。だから、庄崎さんが心から演じた手話劇は、気持ちが伝わってきました。

普段、私は心から伝えたいと思って伝えているかなあ？と反省させられました。その場しのぎの為の応答は、言葉に心があまり入ってないから、心にも響きません。場を盛り上げる意思で会話するのも、勿論大切です。

ですが、庄崎さんのように、自分も相手も、相手の気持ちを理解し合える会話をするには、自分の想いを、相手に伝えたいと意識して、表現する事が大切なのだと思いました。

(やまびこ会) 齋藤 文夏



役立つ講演とホッとするひと時

東日本大震災聴覚障害者救援福島県本部主催の「元気・笑顔Withふくしまの集い」に参加しました。ところが、講演が始まる直前、震度3の余震があり会場が3階だったため、結構大きく揺れました。(汗)

午前は『私たちの暮らしと放射能』について福島市わたり病院医師の斉藤紀氏が講演、資料を片手にペンでメモを執り熱心に聞きました。TVでも毎日のように流している話題なので、講演内容をしっかり頭にインプットしてきました。放射能セシウムを体内に蓄積しないよう、特に子供や若い人がいる家庭では気を付けなければなりません。新聞やTVを欠かさず見て、正確な情報を耳に入れる事が大事!!

難しい講演の後いつもお世話になっている庄崎隆氏のワークショップと青年部メンバーさんのさすが一の演劇に頬が痛い位笑いました。

(いわき支部) 山田 広美

学習し知識を身につけよう!

3月12日に福島第一原発が爆発して以来、政府や東電の発表に信頼が持てず不安を感じていたので、今回の放射能に関する専門家の講演に参加してみた。

それまで不安を払拭するため、自分なりに週刊誌や科学専門誌、インターネットなどを読み漁っていたが、『放射能や放射線は少量でも危険だ』という、いわゆる「危険派」と『そうではない、大量の被曝でなければそんな心配は要らない』という「否定・安心派」の両極に分かれていて、どちらが本当なのか解らなかった。今回の講演はどちらかと言えば「今のところ心配ない」という話で、一応安心は出来た。

また、質疑応答の時に毎日のように新聞や雑誌に出てくる「 μSv 、 Gy 、 Bq 、 cpm 」といった数値や計算式についてどのように見ればいいのか解らなくて、質問もしたが、「こう読み取ればいい」、「こういう式は無い」とか教えて貰えて良かったと思う。

午後は用事があって庄崎氏の劇は観られなかったが帰り、明らかに午後からの参加とみられる若い人達数人とすれ違った。

彼らなりに一応の専門的知識があるか、そうで無ければ、午前中、何か用事があったから、午後からの参加になったのだろうと思ったかったが、ヘタしたらこれからの人生の中での健康に関わるかも知れないのだから、午前中の専門家による講演は聞いておくべきではないかと思う。

我々は人類が誰も経験した事の無い、原発が数日の間に4機も爆発、冷却機能も制御も安定せず、修復もなかなか進まず、放射性物質は飛散を続け、何も収まっていないなど、これからどうなるか判らない、『未知の世界』にいるのだから。

(県南支部) 遠藤 茂

～感動の庄崎ワールド～

開演前の地震に会場はどよめき、思わず柱にしがみついてしまいました。

午前中の講演を聞いて、これからを担う未来の子供たちの食生活に対する不安が大きくなりました。

午後、今回で2回目になる“庄崎ワールド” 前回は感じましたが、指の表現のなんとしなやかなこと。骨までやわらかいのかと思ってしまうほど(私なんて「カクカクシカジカ」なもんで・・・)

ひとときの癒しの時間をもてたこと。とてもうれしく思います。力をもらえました。周りの人たちに笑顔を与え、より添える「サウイウヒトニワタシハナリタイ」by賢治の気持ちで進みたいと思いました

(郡山地区) 高橋 郁子



庄崎ワールド& 青年部「笑いのパワー」共演

青年部が「おおきなかぶ?いや桃」の劇をやっていると、桃が庄崎氏に変わり登場～!

庄崎ワールドで、皆と一緒に身振りの真似をしたり、大工のような身振りが難しかったけれど、ゆっくりと教えてもらったら出来る様になったりと盛り上がりました!!

恒例の「雨ニモ負ケズ」も久々に見られてよかったです。時間が余ったので、青年部と一緒におまけ!!

「笑い」っていうのは、学校で何だかんだわからなくて笑っていたことがそうなのかなって・・・笑ってすごいパワーがあり不思議でした。

プロポーズの劇も面白かったし、私もいつかプロポーズのロマンスが待ち遠しいです。本当に楽しかった!!

(県南支部) 高橋香生里



イベントでストレス解消

開始前に地震がありびっくりしました。

放射能の講演は色々勉強になりましたが、少し難しかったです。

また、食べ物が一番問題があるなど感じました。

家庭での暮らしに色々神経を使って精神的に大変だという声がありました。放射エネルギーが今後増える可能性があるかと怖いです。

午後の庄崎さんの劇は、とても素晴らしかったです。

「男と女の出会い港のロマン」では手の絶妙な動きがどうやったらできるのかなと思いました。

余震が多く不安だったので、今回のイベントではストレス解消になり、笑顔になる劇が見られてとても楽しかったです。ありがとうございました。

(県南支部) 吉田 典昭

笑い感動の一日!!

原発事故から4ヶ月、これからは内部被曝に対する対策が重要になります。基本的には、流通される食品は検査を受けており安心ですが、常に新しい、正しい情報を得る必要があります。

今回、講演を聞き、間違った情報に左右される事なく冷静に対応していきたいと思いました。午後の庄崎

主催:東日本大震災聴覚障害者救援福島本部



さん、感動!の一言です。特に男女の出会い、波と舟、サーカスでの若者から老人までの人生、その指、手の動きに魅了されました。そして青年部とのコラボを見て、「ゆずり葉」を感じました。これからの生活に大切な講演と、たくさんの笑い感動の充実した一日でした。

(手話サークルみみごえ会) 星 美智子

みんなの心を一つに...

講演直前に地震があり、一瞬ざわめきが……。わたり病院の斉藤先生の講演で爆発の原因やヨウ素・セシウムの人体への影響やチェルノブイリとの比較など、わかりやすく説明していただき専門的な質問に対しても丁寧に答えて下さいました。放射性物質は今は空気中にただよっていないとの事で「ホッ」。昼食後、庄崎劇場が始まり本人がカメラになったり、指が男女の足となりロマンを表現、見ていて男女の別れがわかってしまう…不思議。海の生き物や雨ニモマケズの表現も感動しました。ろう学校OBとのコラボなど、庄崎さんからたくさん元気をもらい、みんなで笑顔になりました。最後に集会アピールがあり、みんなの心を一つにして、頑張ろう!をやりました。楽しい一日でした。

(二本松手話サークルこぶし会) 服部 恵子

イベントに参加して

「私たちの暮らしと放射能」について、講師斎藤紀氏よりお話を頂きました。

原子炉に事故発生時、住民のICRP基準やベラルーシの甲状腺ガン発生率動向について聞きました。子どもから大人まで福島県民は放射能の影響を受けないように注意しよう。内部被ばくを防ぎましょう。

「庄崎ワールド」「手の詩、賢治の詩」出演、構成庄崎隆志氏・賢治の序文・男と女の出会い港のロマン・注文の多い整体院・イギリス海岸から海のチェロ・独奏へ・サーカス網渡り稼業・雨ニモ負ケズ等手話ポエムでとてもすばらしかったです。

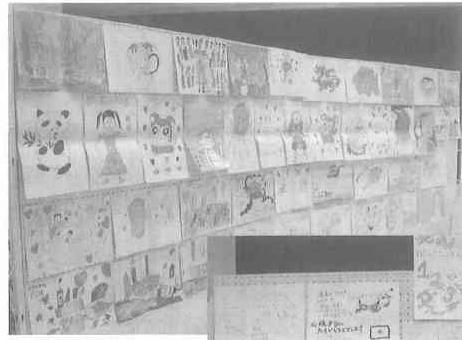
(会津支部) 福田 甲一

集まった大きな力

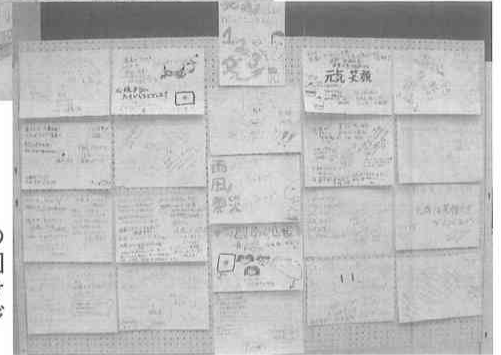
"東日本大震災聴覚障害者救援福島県本部"が立ち上がったことを知り、心から喜びました。私は3月11日の大震災で友人(健聴者)を亡くし、助かった我々も心は病気になっていました。こんな時1人の力はちっぽけで誰のために何が出来るか悩みましたが、救援本部に相談できると思うだけで元気を取り戻しました。また、今回の集いで笑顔の皆さんにお会いでき、益々大きな力をいただきました。

前半の放射性物質のお話はより身近な内容で大変良く解りました。後半は、庄崎さんの美しいポエムの世界に没頭し、しばし夢の中で幸せ一杯になっていました。帰り道一緒に参加した仲間と「これからもがんばろうね。ニコッ」笑顔で誓いました。

(手話サークルあゆみ会) 阿部 圭子



(中国からも子どもたちの絵が届けられました)



(参加者が今の気持ちを全国の仲間に向けたメッセージボード)

「元気・笑顔 with ふくしま」 集会アピール

私たちの生活を一変させた未曾有の3.11東日本大震災は、大きな恐怖と悲しみをもたらしました。そして、震災から4ヶ月。今も大きな余震が続き、原発事故の収束は未だ見えません。

私たちは3月14日に「聴覚障害者救援福島県本部」を聴覚障害者協会・手話サークル連絡協議会・手話通訳問題研究会、更に、中途失聴難聴者協会・盲ろう友の会と共に連携し、関係者全員の安否確認と様々な支援活動を行ってきました。

これら救援活動を通して、次のことをアピールします。

1. 災害時のネットワーク拠点としての機能を持つ公的な場所として、「福島県聴覚障害者情報提供施設」をみんなの力を合わせて早急に実現させましょう！
2. 被害を直接受けた私たちが出来ることとして、「脱原発」をみんなで考え、行動していきましょう！！
3. みんなの心を一つにして、元気に笑顔で知恵と力をあわせ、負けずに頑張ってくださいましょう！

平成23年7月10日

東日本大震災聴覚障害者救援福島県本部